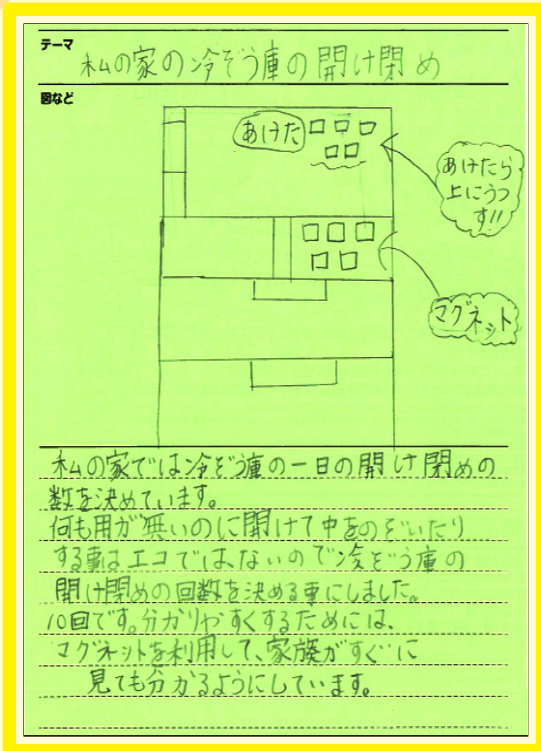


小学生以下の部

《最優秀賞》



高平 奈々さん

「私の家の冷蔵庫の開け閉め」

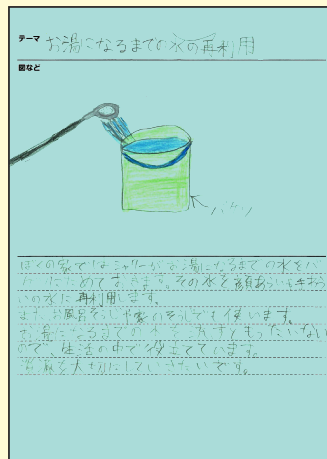
私の家では冷蔵庫の一日の開け閉めの数を決めています。
何も用が無いのに開けて中をのぞいたりする事はエコではないので冷蔵庫の開け閉めの回数を決める事にしました。10回です。分かりやすくするためには、マグネットを利用して、家族がすぐに見てもわかるようにしています。



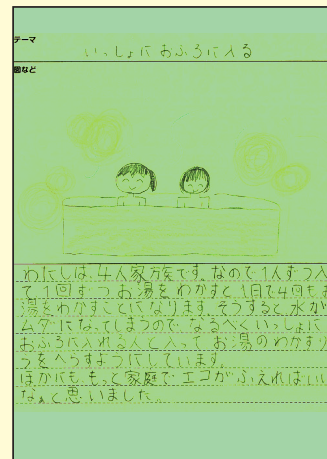
《優秀賞》

「お湯になるまでの水の再利用」

ぼくの家ではシャワーがお湯になるまでの水をバケツにためておきます。その水を顔あらいや手あらいの水に再利用します。
また、お風呂そうじや家のそうじでも使います。
お湯になるまでの水を流すともったいないので、生活の中で役立っています。
資源を大切にしていきたいです。



佐々木 温人さん



高山 明咲さん

「いっしょにお風呂に入る」

わたしは、4人家族です。なので1人ずつ入って1回ずつお湯をわかすと1日で4回もお湯をわかすことになります。そうすると水がムダになってしまうので、なるべくいっしょにお風呂に入る人を入れてお湯のわかすりょうをへらすようにしています。ほかにも、もっと家庭でエコがふえればいいなあと思いました。



一般の部

《最優秀賞》



「自転車GO!」

通勤を車から自転車に変え、CO₂削減。
 自転車に乗る事により走行スピードは落ちる。信号待ちでの停止時、街中の風景、路地裏、草花樹木の繁る季節を感じる事が出来る。特に私の場合は泉用水を右手に見ながら犀川を渡り、長町の武家屋敷。そして玉川公園のベンチは、時には雨宿り、時には日除けの小休止と利用させてもらっている。私の趣味である、絵をかくときには見たそのまま描くのではなく、目には見えない事、感じたことを書くために風・雨・太陽・変化する雲・川。季節を感じやすい自転車通勤は日常化し、絵の構想時間にもエコになっています。



内島 一夫さん



《優秀賞》

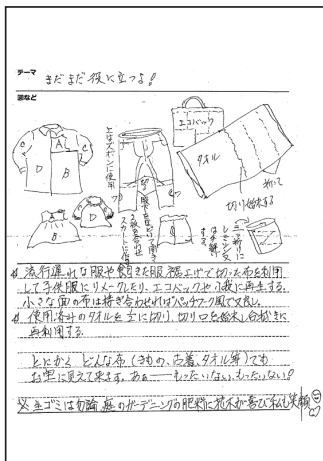


「骨の折れたカサのリサイクル」

カサは、骨が折れたら使えなくなってしまうけど、カサの布は丈夫で、水にも強いので、エコバックを作りました。
 カサの布を使えば、カサのリサイクルになるし、作ったエコバックを使って買い物することで、レジ袋を使わなくて済み、地球温暖化の防止につながります。作ったエコバックは、実際に買い物するときに使っています。軽くて丈夫で、環境にもやさしいエコバックを使えるようになり、作ってよかったと思いました。



柴田 伊さん



関屋 幸子さん

「まだまだ役に立つよ!」

☆流行遅れな服や飽きた服は裾上げて切った布を利用して子供服にリメイクしたり、エコバックや小袋に再生する。小さな面の布は接ぎ合わせればパッチワーク風で又良し。
 ☆使用済みのタオルを1/2に切り、切り口を始末し台拭きに再利用する。
 とにかくどんな布(きもの、古着、タオル等)でもお宝に見えて来ます。
 あぁもったいない、もったいない!
 ※生ゴミは勿論、庭のガーデニングの肥料に花木が喜び私も笑顔!